

2019年JPAF強化指定選手の強化指定ランク名称変更と定員の追加

および

2019オランダ世界選手権選手選考の追加招集について

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックのホスト国として名誉と威信をかけ、是が非でも複数のメダル獲得を目標としていく必要がある。そこで、2017中国パラアーチェリー世界選手権時の種別毎の記録を参考に基準点を設定した。さらに、(1) 日本を代表するにふさわしく品格のある者、(2) 当連盟が指定する国際大会、強化合宿に全日程参加できる体力、健康状態、精神力を有する者を強化指定選手として選考する。

※2019年強化選手の期間は2019年1月1日～12月31日までとする。

※2018年度強化選手は2018年12月31日までとする。

強化指定選手の条件

・2018年1月1日～11月4日までのWA公認大会及び全ア連公認の競技大会の成績において、選考基準点（別紙1）を2回以上達成している者。ランキングの申請は11月9日23時59分までとする。

- ・当連盟が指定する国際・国内大会、および強化合宿に全日程参加できる者
- ・国際クラス分け「適格者」又は国内クラス分けを受け、国際クラス分けにおいて「適格(Eligible)」と判定される可能性が高い者
- ・誓約書の内容を厳守できる者
- ・健康診断において問題の無い者
- ・アンチ・ドーピングを理解している者

※上記に該当しない項目が生じた場合、強化指定選手の資格を失うことがある。

2019年強化指定選手の強化指定ランク名称変更と定員の追加について

2019年JPAF強化指定選手選考にあたり、選考基準での強化指定選手B（育成）を強化委員会で推薦を行わず、2019年2月に開催する強化指定選手選考会で決定することとした。強化指定選手選考会はオランダ世界選手権の選考会も兼ねている。世界選手権では2020東京パラリンピックの出場枠が決定する大会であり、JPAF理事会は世界選手権に多くの選手を派遣することとした。それに伴い、強化指定選手の強化指定ランクの名称を変更するとともに、定員を追加することにした。

JPAF 強化指定選手の定員

- ・男子 W1：2 名
- ・男子コンパウンド：3 名
- ・男子リカーブ：3 名
- ・女子 W1：2 名
- ・女子コンパウンド：2 名
- ・女子リカーブ：2 名

1、JPAF 強化指定選手

パラリンピック東京大会でのメダル獲得及び、2024 年パリ大会への強化のため、以下の 4 ランクとする。

- ・強化指定選手 S
- ・強化指定選手 A
- ・強化指定選手 B
- ・強化指定選手 C

1) 強化指定選手 S

- ・2018 年中に 2019 年 JPAF 強化指定基準を達成し、「強化指定選手」に該当する選手

2) 強化指定選手 A

- ・2019 年 2 月の選考会において選考基準点を達成し、2019 年オランダ世界選手権の日本代表に内定した選手

3) 強化指定選手 B

- ・2019 年 2 月の選考会において選考基準点を達成できなかったが、最大派遣人数により 2019 年オランダ世界選手権の日本代表に内定した選手

4) 強化指定選手 C (国内育成枠)

- ・2019 年 2 月の選考会の結果において、JPAF 強化指定選手枠に空きができた場合に、定員数に応じて強化指定選手 C を決定する。強化指定選手 C は国際大会の派遣は原則行わず、連盟が指定した合宿に参加でき、強化拠点 (NTC 拡充棟) を利用することが出来る。
- ・国際クラス分けカードを所持していない選手を国際大会に派遣し、国際クラス分けを受けなければならない。

【特記事項】

- ・W1 に関しては、強化指定選手 S・A・B に該当する選手がない場合、強化指定選手 C の選手を国際大会に派遣する。

【強化試合・強化合宿について】

<指定大会>

- ・強化指定選手は①～③の大会に必ず参加し、かつ④～⑦の試合の中から 1 試合以上は必ず参加する。なお、やむを得ない理由で所属長から「欠席願い」が提出された場合は、これを認める場合がある。

【必ず参加しなければならない大会】

- ① 日本身体障害者アーチェリー連盟杯 (JPAF 杯)
- ② 全国身体障害者アーチェリー選手権大会 (フェニックス大会)
- ③ 強化部指定の国際大会

【1 試合以上参加しなければならない大会】

- ④ 関東甲信越身体障害者アーチェリー選手権大会 (または、七沢杯、埼玉交流大会から指定)
- ⑤ 近畿・東海身体障害者アーチェリー大会 (または、のじぎく杯から指定)
- ⑥ 中四国身体障害者アーチェリー選手権大会
- ⑦ 九州身体障害者アーチェリー大会 (または、火の国杯から指定)

【強化合宿】

- ・強化指定選手は当連盟が指定する強化合宿に参加する。
- ・強化合宿中のミーティングに参加する。
- ・やむを得ない理由で所属長から「欠席願い」が提出された場合は、これを認める場合がある。

【2019 年強化合宿および国際大会での選手負担金について】

	強化合宿での選手負担			国際大会での負担
	交通費	食費	宿泊費	
強化指定選手 S	免除	免除	免除	一律 30 万円 (イタリアは実費)
強化指定選手 A	免除	自己負担	自己負担	一律 35 万円
強化指定選手 B	自己負担	自己負担	自己負担	全額自己負担
強化指定選手 C	自己負担	自己負担	自己負担	全額自己負担

注) 国際大会での負担額は、強化事業費・遠征時期や規模によって大きく変動する場合がある。

また、強化選手 S・A については強化助成金より一部補填する。

【その他】

- ・日本身体障害者アーチェリー連盟強化部が指定した国際大会、国内大会、強化合宿の期間中には、強化部が指定した競技ユニフォームを着用すること。
- ・日本身体障害者アーチェリー連盟から依頼したメディア対応は、強化部が指定した競技ユニフォームを着用すること。

1、強化指定選手選考基準点

<表：強化指定選手選考基準点>

	2019 年
RCM	616
RCW	576
CPM	678
CPW	661
W1M	626
W1W	580

≪参考：2017 中国世界選手権結果抜粋（72 射）≫ RR→ランキングラウンド

	RR 8 位	RR 1 / 3	RR 中間	エントリー数
RMO	624	601	590	54
RWO	595	586	567	32
CMO	687	678	669	74
CWO	677	669	653	44
W1MO	638	638	627	27
W1WO	565	642	619	12

※2020 年度の選考基準点は 2018 年度の国際大会等の内容により変更する場合がある。

2、2019 年 JPAF 東京パラリンピック強化選手

強化指定選手 S・A・B を 2019 年 JPAF 「東京パラリンピック強化選手」という。

3、JPC パラリンピック強化指定選手

JPC が「JPC パラリンピック強化指定選手」を選考し JPAF に通達され、JPAF 理事会で承認された選手。

【修正版】

2019年JPAF強化選手選考会

2019オランダ世界選手権日本代表選手選考会の実施について

【概要】

2019年JPAF強化選手選考会兼2019オランダ世界選手権日本代表選手選考会を開催する。本選考会によってJPAFは次の決定を行う。

(1) 2019年JPAF強化選手の決定

本選考会の結果から「JPAF強化指定A・B・C」を決定する。なお、既に決定している2019年JPAF強化指定選手Sについては、「2019年東京パラリンピック強化指定シード選手」とし、本選考会に出場する必要はない。

(2) 2019オランダ世界選手権日本代表選手の決定

「2019年東京パラリンピック強化指定シード選手」については、2019オランダ世界選手権日本代表選手に無条件で決定する。JPAF強化選手選考会の結果をもとに決定された、「JPAF強化指定選手A・B・C」については、最大派遣人数の枠が満たされるまで、順位に基づき選手を決定していく。

【内容】

選考会の詳細については、別紙3に示す。

【修正版】

2019 年 JPAF 強化選手選考会
(兼)
2019 オランダ世界選手権日本代表選手選考会実施要綱

主 催 日本身体障害者アーチェリー連盟
主 管 強化部

日 程：2019 年 2 月 18 日（月）～21 日（木）

場 所：JISS アーチェリー実験場

1) 対象選手

ア) 国内クラス分け・国際クラス分けカードを所持しているもの

イ) 2018 年 1 月 1 日～12 月 2 日の期間の競技会で、国内クラス分け・国際クラス分けカードに記載された用具で出場した全日本アーチェリー連盟公認試合※において、以下の点数を 2 回達成した者

※国内クラス分け・国際クラス分けカードを所持以前の記録は対象外とする

- ・男子 W1：600 点
- ・男子コンパウンド：660 点
- ・男子リカーブ：580 点
- ・女子 W1：530 点
- ・女子コンパウンド：630 点
- ・女子リカーブ：540 点

2) 選考申し込み

12/9（日）23：59 締め切り JPAF 宛にランキング申請を行う。

3) 参加選手選考

12/15（土）に選考会議を開催し、翌業務日に連盟 HP に通過者を発表する。

4) 選考会参加定員

- ・男子 W1：2名
- ・男子コンパウンド：2名
- ・男子リカーブ：2名
- ・女子 W1：1名
- ・女子コンパウンド：2名
- ・女子リカーブ：2名

※定員最終位の2本合計点が同点の場合は、申請最高点が高い順で選考する。

5) 参加申し込み

- ア) 参加費 3,000円
- イ) 宿泊は各自申し込み
- ウ) 申し込み方法は通過者発表時にお知らせする。

6) 選考会競技方法

50m・70m ラウンドを2回実施し、144射の合計点で順位を決定する。

7) 世界選手権派遣人数

ア) 2019年強化指定選手の各種別カテゴリーにお於ける人数による
2019年強化指定選手(シードS)と2019年東京パラリンピック強化選手を合わせて以下の人数を超えない人数を選考する。

- ・男子 W1：2名
- ・男子コンパウンド：3名
- ・男子リカーブ：3名
- ・女子 W1：2名
- ・女子コンパウンド：2名
- ・女子リカーブ：2名

※選考人数最終位が同点の場合は、1射シュートオフを実施する。

8) 選手選考方法

選考会において、1回目か2回目のラウンドで、以下の選考基準点を達成した者を強化指定選手Aとする。

- ・男子 W1：626点
- ・男子コンパウンド：678点
- ・男子リカーブ：616点
- ・女子 W1：580点

- ・女子コンパウンド：661点
- ・女子リカーブ：576点

ア) 選考会の結果、各種別で世界選手権派遣人数が下記の人数未満の場合、144射合計点の順位で派遣選手を選考する。選考されたものは強化指定選手Bとする。ただし、MQS（東京パラリンピック最低出場資格基準）以上の点数を記録した場合に限る。

- ・男子W1：1名
- ・男子コンパウンド：3名
- ・男子リカーブ：3名
- ・女子W1：2名
- ・女子コンパウンド：2名
- ・女子リカーブ：2名

イ) 強化指定選手の選考の結果、各種別で強化指定選手S・A・Bの合計人数が前記（7-イ）を下回っている場合、残りの枠数に応じて強化指定選手Cを選考する。

2019年3月23日 一部修正